



cool breeze

ecology



環境経営レポート

実施期間 令和6年1月21日～令和7年1月20日

発行日:令和 7年 5月 10日
改訂日:令和 7年 6月 05日



三和式ベンチレーター株式会社

目次

1. 組織の概要	.. 2
a. 事業者名	
b. 所在地	
c. 環境管理責任者及び担当者の連絡先	
d. 事業の概要	
e. 事業規模	
2. 対象範囲(認証・登録範囲)、レポートの対象期間及び発行日	.. 2
3. 環境経営方針	.. 3
4. 環境経営目標	.. 4
5. 環境経営計画	.. 5
6. 1環境経営計画に基づき実施した取り組み内容	.. 6
6. 2実施体制	.. 7
7. 1環境経営目標の実績	.. 8
7. 2環境経営計画の取組結果とその評価	.. 9
7. 3次年度の環境経営目標	.. 10
7. 4次年度の環境経営計画	.. 11
8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無	.. 12
9. 代表者による全体の評価と見直し・指示	.. 13
当社の環境配慮商品	.. 15

1. 組織の概要

a, 事業者名及び代表者名

三和式ベンチレーター株式会社
代表取締役 服部 聡始

b, 所在地

本社・工場 : 愛知県稲沢市高重中町53番地
電話 : 0587-32-4168
FAX : 0587-23-5074
E-mail : hattori@sanwaveriti.co.jp

東京営業所 : 東京都足立区花畑6丁目19-3
電話 : 03-3885-2366
FAX : 03-3859-7414

福岡営業所 : 福岡県大野城市東大利3丁目 3-11
電話 : 092-558-1875
FAX : 092-558-1876

c, 環境管理責任者及び担当者の連絡先

管理責任者氏名 : 吉田 悟
電話 : 0587-32-4168
FAX : 0587-23-5074
E-mail : yoshida@sanwaveriti.co.jp

担当者氏名 : 片上 哲宏
電話 : 0587-32-4168
FAX : 0587-23-5074
E-mail : katakami@sanwaveriti.co.jp

d, 事業活動の内容: 屋上換気扇・トップライト・家庭用脱臭換気扇の製造・販売・取付

e, 事業規模

法人設立年月日 : 昭和36年2月1日
資本金 : 1,200万円
主要製品出荷額 : 14億8526.6万円 (令和6年度)
全社従業員数 : 65人 (令和6年度4月現在 ※パート含む)
全敷地面積 : 3,580㎡ (床面積 2794㎡)

2. 対象範囲(認証・登録範囲), レポートの対象期間及び発行日

対象組織 : 全組織
対象活動 : 事業活動の内容と同じ

レポートの対象期間 : 令和6年1月21日～令和7年1月20日
レポートの発行日 : 令和7年5月10日
レポートの改訂日 : 令和7年6月5日

3. 環境経営方針

「社員協調の基、より良い製品づくりに
努め業績を向上させ社会に貢献する」

ことを経営理念とし、屋上換気扇・採光形トップライト・
気化式冷風機に環境に配慮した製品の製造・販売
を通して環境保全活動に貢献します。

環境経営方針

1. 環境に関連する法令等を遵守します
2. 事業活動に伴い、生じる環境負荷の低減に努めます
 - 1) CO2排出量の削減に努めます
 - 2) 廃棄物排出量の削減に努めます
 - 3) 水使用量の削減に努めます
 - 4) 気化式冷風機等の環境配慮製品の販売を促進します
 - 5) 地域のゴミ拾い等の地域貢献活動を継続していきます
 - 6) 化学物質の削減に努めます
3. 環境経営の継続的改善を誓約します

制定日 平成22年11月26日

改訂日 令和1年6月4日

代表取締役 服部 聡始

4. 環境経営目標

環境経営目標は令和4年度(令和4年1月21日～令和5年1月20日)を基準年度とした環境負荷の実績を年度基準として、中期目標を設定する。尚、()内は売上高原単位の目標とする。尚、以下を変更します(令和4年売上高1161.53百万円)

環境負荷	令和4年度実績 (基準年度)	目標 (%)	令和6年度	目標 (%)	令和7年度	目標 (%)	令和8年度
①二酸化炭素排出量の削減 kg・CO2(kg・CO2/百万円)	148,644 (127.97)	-2%	145,671 (125.4)	-1%	159,379 (106.9)	-2%	157,769 (105.9)
電気使用量(kWh)	179,162	-2%	175,579	-1%	212,592	-2%	210,444
軽油使用量(ℓ)	3,487	-2%	3,417	-1%	3,786	-2%	3,748
灯油使用量(ℓ)	4,773	-2%	4,678	-1%	3,405	-2%	3,371
ガソリン使用量(ℓ)	16,414	-2%	16,086	-1%	17,773	-2%	17,593
都市ガス使用量(m³)	40	-2%	39	-1%	376	-2%	372
②廃棄物排出量の削減(kg)	一廃 1,246	-2%	1,221	-1%	1,776	-2%	1,758
	産廃 9,312	-2%	9,126	-1%	7,341	-2%	7,267
③水使用量の削減(m³)	667	-2%	654	-1%	563	-2%	558
④有害化学物質の削減(kg)	使用量 1143	-2%	使用量 1120	-1%	使用量 735	-2%	使用量 728
	(0.98)		(0.96)		(0.49)		(0.49)
適正管理	適正管理		適正管理		適正管理		適正管理
⑤環境配慮商品・販売促進	販売台数	目標販売台数					
		2%					
	34	35					
⑤製品の環境配慮・クレーム数削減		実績件数	件数		件数		
			-1		-2		
		15	14		13		
⑥地域貢献活動	環境美化活動	環境美化活動	環境美化活動		環境美化活動		
	1回/月	1回/月	1回/月		1回/月		

- 令和4年度実績の電気使用量二酸化炭素排出量係数は
令和2年度公表調整後排出係数(kg-CO2/kWh)を使用しました。
伊藤忠エネクス0.519 中部電力0.424 東京電力0.441 九州電力0.370
- 令和7年度より令和6年度実績を基準年度とします。(問題点の是正により)
- 令和7年度より電気使用量二酸化炭素排出量係数を
電気事業者別排出係数 令和4年度実績R5.12.22環境省・経済産業省公表、R6.7.19一部追加・更新に変更します。
- 令和7年度より⑤環境配慮商品・販売促進を製品の環境配慮・クレーム数削減とします。(問題点の是正より)

5. 環境経営計画

作成日	令和6年1月7日
作成者	環境事務局

・令和6年1月21日～令和7年1月20日までの取組と担当部署

取組内容	担当部署		
①二酸化炭素排出量の削減取り組み			
電気使用量の削減			
・節電呼びかけ、ルール作成、機械・設備の省エネ管理	業務	営業	製造
・不要照明の節電徹底	業務		製造
・空調の設定温度の管理	業務		製造
・パソコン等OA機器の使用管理	業務	営業	製造
・製造設備不稼働時電源OFF			製造
・コンプレッサーのエア漏れチェック			製造
化石燃料(ガソリン・軽油・灯油/都市ガス)使用量削減			
・エコドライブの実施	業務	営業	製造
・アイドリングストップの実施	業務	営業	製造
・車両の運行管理の実施	業務	営業	製造
・車両の点検整備の実施		営業	製造
・設備運用管理の徹底			製造
・設備稼働管理の徹底			製造
・灯油(暖房器具)の使用管理	業務	営業	製造
②廃棄物の削減・リサイクル取り組み			
・分別ボックス設置	業務	営業	製造
・ラベル添付	業務	営業	製造
・廃棄物の分別の徹底	業務	営業	製造
・産廃業者選定・契約・運用			製造
・廃材の再使用・リサイクル			製造
③水使用量の削減への取り組み			
・手洗節水の徹底	業務	営業	製造
・散水節水の徹底	業務	営業	製造
④有害化学物質の削減、適正管理			
・化学物質のSDSによる適正管理	業務		製造
・有害化学物質の無害物質への代替品の調査	業務		製造
・製造工程の変更による使用量削減			製造
⑤環境配慮商品の販売促進			
・環境配慮商品の販売促進	業務	営業	製造
・製品設計、製造の環境配慮			製造
・不良率低減			製造
・歩留り向上			製造
・稼働率向上			製造
・5S活動,QC活動		営業	製造
⑥地域貢献活動			
・会社周辺の清掃活動(月/1回)	業務	営業	製造
・5S活動	業務	営業	
・地域ごみ収集ボランティア活動(地域の廃品回収時の場所の提供)			

6.1 環境経営計画に基づき実施した取り組み内容

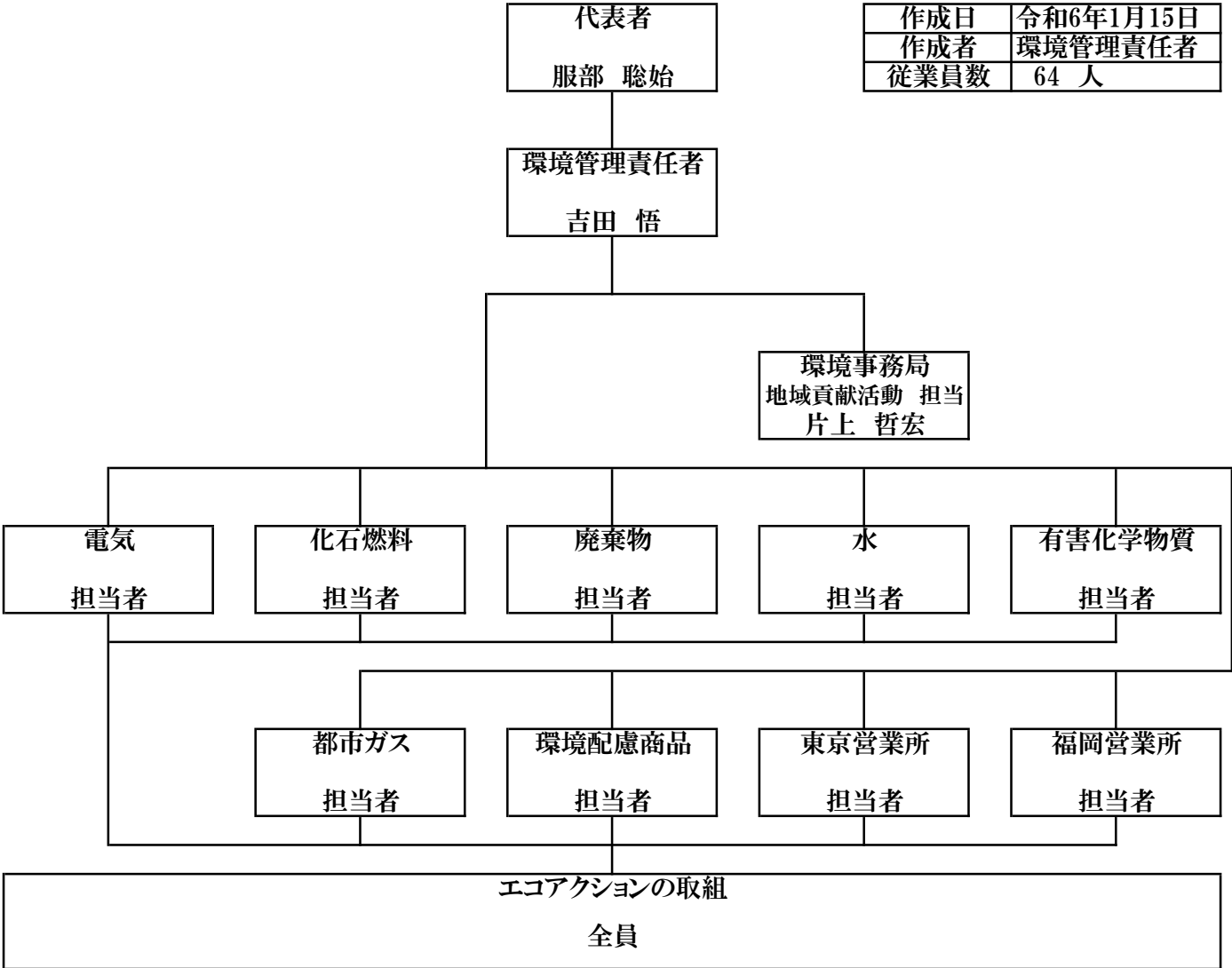
環境管理責任者:吉田 悟 確認日:令和7年3月5日

環 境 目 標		取組内容	計画・実施状況 担当部署	月度スケジュール/実施状況・評価											
				取組計画：○ 実施状況： ◎：実施△：一部未実施											
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
全体計画		運用実施 環境経営レポート作成、審査申請 啓蒙教育	取組基本計画	継続運用											
				負荷チェック・取組チェック											
				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
二 酸 化 炭 素 排 出 量 の 削 減	電気使用量の削減 基準年比 2%削減	・節電呼びかけ、ルール作成 機械・設備の省エネ管理 ・不要照明の節電徹底 ・空調の設定温度の管理 ・パソコン等OA機器の使用管理 ・製造設備不稼働時電源OFF ・コンプレッサーのエア漏れチェック	計画	啓蒙活動											
				○											
			実施状況	業務	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
				製造	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	化石燃料使用量の削減 基準年比 軽油 2%削減 灯油 2%削減 ガソリン 2%削減 都市ガス 2%削減	・エコドライブの実施 ・アイドリングストップの実施 ・車両の運行管理の実施 ・車両の点検整備の実施 ・設備運用管理の徹底 ・設備稼働管理の徹底 ・灯油使用管理	計画	啓蒙活動											
				○											
			実施状況	業務	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
				営業	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	製造	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
	廃棄物排出量の削減 基準年比 一廃 2%削減 産廃 2%削減	・分別ボックス設置 ・ラベル添付 ・廃棄物の分別の徹底 ・産廃業者選定・契約・運用 ・廃材の再使用・リサイクル	計画	啓蒙活動											
				○											
			実施状況	業務	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
製造				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
水使用量の削減 基準年比 2%削減	・手洗節水の徹底 ・散水節水の徹底	計画	啓蒙活動												
			○												
		実施状況	業務	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
			営業	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
製造	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎					
有害化学物質の 削減・適正管理 基準年比 2%削減	・化学物質のSDSによる適正管理 ・有害化学物質の無害物質への代替品の調査 ・製造工程の変更による使用量削減	計画	適正管理												
		実施状況 製造	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
製品・製造への環境配慮 環境配慮商品販売台数 基準年比 2%増加	・環境配慮商品の販売促進 ・製品設計、製造の環境配慮 ・不良率低減 ・歩留り向上 ・稼働率向上 ・5S活動,QC活動	計画	○												
		実施状況	本社製造	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
			製造	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
地域貢献活動	・会社周辺の清掃活動(月/1回) ・地域ごみ収集ボランティア活動	計画	○												
		実施状況 本社	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
環境経営計画総合評価			環境管理責任者 吉田 悟	計画通り実施できました。											

6.2 実施体制

承認者
服部 聡始

作成日	令和6年1月15日
作成者	環境管理責任者
従業員数	64 人



役割	責任 ・ 権限
代表者(社長)	環境経営方針の作成 経営における課題とチャンスの明確化 実施体制の構築(環境管理責任者の任命) 資源の用意 エコアクション21の全体的な取り組み状況の評価と見直し・指示
環境管理責任者	代表者に代わり、環境経営システムの構築・運用・維持 環境保全活動の取り組み状況を代表者に報告
環境事務局	環境経営目標・環境経営計画書原案の作成 エコアクション21文書、記録の作成 環境経営レポートの作成 地域貢献活動の声掛け
各担当者	エコアクション21の取り組み実施 実施状況の確認・記録を事務局へ提出
全社員	エコアクション21の取り組み

7.1 環境経営目標の実績

環境への取り組みの実施期間は、令和6年1月21日から令和7年1月20日の1年間として、達成状況を次に比較しました。

尚、（ ）内は仕事量と相関する売上高原単位の数値とします。

環境負荷項目		令和4年度実績 基準年度	目標	令和6年度目標	令和6年度実績	対目標 増減(%)	評価 ○×	
売上高(百万円)		1,162	-	—	1,490			
①二酸化炭素排出量の削減 kg・CO2(kg－CO2／百万円)		148,644	-2%	145,671	168,160	15.4	×	
		(127.97)	-2%	(125.41)	(112.83)	-10.0	○	
総 エ ネ ル ギ ー 使 用 量	電気使用量(kWh)	179,162	-2%	175,579	214,739	22.3	×	
	軽油使用量(L)	3,487	-2%	3,417	3,825	11.9	×	
	灯油使用量(L)	4,773	-2%	4,678	3,440	-26.5	○	
	ガソリン使用量(L)	16,414	-2%	16,086	17,952	11.6	×	
	都市ガス使用量(m³)	40	-2%	39	380	869.4	×	
②廃棄物排出量の削減(kg)		一廃	1,246	-2%	1,221	1,794	46.9	×
		産廃	9,312	-2%	9,126	7,415	-18.7	○
③水使用量の削減(m³)		667	-2%	654	569	-13.0	○	
④有害化学物質の削減(kg)		1,143	-2%	1120	742	-33.7	○	
		(0.98)		(0.96)	(0.50)	-48.3	○	
		適正管理		適正管理	適正管理	適正管理		
⑤環境配慮商品・販売台数		販売台数 34	2%	目標台数 35	販売台数 70	101.8	○	
⑥地域貢献活動		環境美化活動	-	1回／月	1回／月	-	○	
				月に1度実施	月に1度実施			

- ・電気使用量の二酸化炭素排出量係数は令和2年度公表調整後排出係数(kg-CO2/kWh)を使用しました。
伊藤忠エネクス0.519 中部電力0.424 東京電力0.441 九州電力0.370

注記：評価は目標値を達成した場合は○、未達成の場合は×と表示しています。

7.2 環境経営計画の取組結果とその評価

(1)二酸化炭素排出量

① 取組結果

目標に対して、15.4%増加となりました。

② 評価

電気使用量は、工場のエアコン稼働による増加と思われますので、節電を呼びかけていきます。
軽油・ガソリンは、売上に比例して上がるのでやむをえないですが、今一度朝礼などで呼びかけていきます。

③ 次年度の取組内容

- a. 製造・業務：エアコン稼働時に扉の開けっ放しのないように朝礼などで徹底します。
- b. 業務・営業：引き続き急発進、急加速、急ブレーキの禁止及び、エコドライブの徹底をします。

(2)廃棄物排出量

① 取組結果

一廃46.9%増加、産廃18.7%削減となりました。

② 評価

廃棄物に関しては、年によってばらつきがありますが、次年度は削減できるよう努めていきます。

③ 次年度の取組内容

- a. 業務・営業：引き続き、コピー用紙使用量の削減の徹底(裏紙の利用等)
- b. 製造：資源分別の徹底。社員への啓蒙活動。

(3)水使用量

① 取組結果

目標に対して、13%削減できました。

② 評価

エアコンの使用により、涼風の使用が減った為
手洗い時の節水など、今後も朝礼などで呼びかけていきます。

③ 次年度の取組内容

- a. 手洗い時の節水などと啓蒙活動。

(4)有害化学物質の削減、適正管理

① 取組結果

目標に対して、33.7%削減できました。

② 評価

塗装をまとめて行うことで、使用量が削減できたと思います。
マスク着用や、適正管理はできました。

③ 次年度の取組内容

- a. 代替品の調査をして、有害化学物質の削減に、より一層取り組んでいきたいと思っています。
- b. 防毒マスク・保護具の着用のチェックをします。

(5)環境配慮商品の販売促進

① 取組結果

目標台数に対して101.8%増加しました。

② 評価

展示会などで、販売台数を伸ばすことができました。

(6)地域貢献活動

① 取組結果

地域貢献活動として、月1回の清掃活動ができました。

② 評価

社員全員が参加して、環境美化に取り組みました。
活動中に地域住民の方と、挨拶を交わす事で、コミュニケーションを取る事が出来ました。

③ 月1回の環境美化活動及び、地域の廃品回収時の、場所の提供を継続していきます。

7.3 次年度の環境経営目標

環境経営目標は令和4年度(令和6年1月21日～令和7年1月20日)を基準年度とした環境負荷の実績を年度基準として、次年度目標目標を設定する。尚、()内は売上高原単位の目標とする。尚、以下を変更します。
(令和6年売上高1490.42百万円)

環境負荷	令和6年度実績 (基準年度)	目標 (%)	令和7年度	目標 (%)	令和8年度	目標 (%)	令和9年度
①二酸化炭素排出量の削減 kg・CO2(kg・CO2/百万円)	160,989 (108.02)	-1%	159,379 (106.9)	-2%	157,769 (105.9)	-3%	156,159 (104.8)
電気使用量(kWh)	214,739	-1%	212,592	-2%	210,444	-3%	208,297
軽油使用量(ℓ)	3,825	-1%	3,786	-2%	3,748	-3%	3,710
灯油使用量(ℓ)	3,440	-1%	3,405	-2%	3,371	-3%	3,336
ガソリン使用量(ℓ)	17,952	-1%	17,773	-2%	17,593	-3%	17,414
都市ガス使用量(m ³)	380	-1%	376	-2%	372	-3%	369
②廃棄物排出量の削減(kg)	一廃 1,794	-1%	1,776	-2%	1,758	-3%	1,740
	産廃 7,415	-1%	7,341	-2%	7,267	-3%	7,193
③水使用量の削減(m ³)	569	-1%	563	-2%	558	-3%	552
④有害化学物質の削減(kg)	使用量 742.38	-1%	使用量 735	-2%	使用量 728	-3%	使用量 720
	(0.50)		(0.49)		(0.49)		(0.48)
適正管理	適正管理		適正管理		適正管理		適正管理
⑤製品の環境配慮・クレーム数削減	件数		件数		件数		件数
	15		14		13		12
⑥地域貢献活動	環境美化活動		環境美化活動		環境美化活動		環境美化活動
	1回/月		1回/月		1回/月		1回/月

- ・電気使用量の二酸化炭素排出量係数は
令和4年度実績 環境省・経済産業省公表 R6.7.19-一部追加・更新(kg-CO2/kWh)を使用しました。
伊藤忠エネクス(九州電力)0.475 中部電力ミライズ0.459 東京ガス0.373 九州電力0.475

※ 基準年度を令和6年度実績に変更しました。(問題点の是正より)

※ 環境配慮商品・販売台数から、製品の環境配慮・クレーム数削減変更しました。(問題点の是正より)

7.4 次年度の環境経営計画

作成日	令和7年1月20日
作成者	環境事務局

・令和7年1月21日～令和8年1月20日までの取組と担当部署

取組内容	担当部署		
①二酸化炭素排出量の削減取り組み			
電気使用量の削減			
・節電呼びかけ、ルール作成、機械・設備の省エネ管理	業務	営業	製造
・不要照明の節電徹底	業務		製造
・空調の設定温度の管理	業務		製造
・パソコン等OA機器の使用管理	業務	営業	製造
・製造設備不稼働時電源OFF			製造
・コンプレッサーのエア漏れチェック			製造
化石燃料(ガソリン・軽油・灯油/都市ガス)使用量削減			
・エコドライブの実施	業務	営業	製造
・アイドリングストップの実施	業務	営業	製造
・車両の運行管理の実施	業務	営業	製造
・車両の点検整備の実施		営業	製造
・設備運用管理の徹底			製造
・設備稼働管理の徹底			製造
・灯油(暖房器具)の使用管理	業務	営業	製造
②廃棄物の削減・リサイクル取り組み			
・分別ボックス設置	業務	営業	製造
・ラベル添付	業務	営業	製造
・廃棄物の分別の徹底	業務	営業	製造
・産廃業者選定・契約・運用			製造
・廃材の再使用・リサイクル			製造
③水使用量の削減への取り組み			
・手洗節水の徹底	業務	営業	製造
・散水節水の徹底	業務	営業	製造
④有害化学物質の削減、適正管理			
・化学物質のSDSによる適正管理	業務		製造
・有害化学物質の無害物質への代替品の調査	業務		製造
・製造工程の変更による使用量削減			製造
⑤製品の環境配慮・クレーム数削減			
・クレーム数削減	業務	営業	製造
・製品設計、製造の環境配慮			製造
・不良率低減			製造
・歩留り向上			製造
・稼働率向上			製造
・5S活動,QC活動		営業	製造
⑥地域貢献活動			
・会社周辺の清掃活動(月/1回)	業務	営業	製造
・5S活動	業務	営業	
・地域ごみ収集ボランティア活動(地域の廃品回収時の場所の提供)			

8. 環境関連法規などの遵守状況の確認 及び評価の結果並びに違反、 訴訟などの有無

法令見直し日:令和7年3月31日

遵守評価日:令和7年3月31日 評価責任者:環境管理責任者

評価判断○;適合 ×;不適合 △;一部不適合

適用法令等	遵守事項	評価基準	評価
廃棄物処理法	廃棄物適性分別	指定区分ごとの保管	○
	委託契約書の締結(業の届出確認)	契約書の確認	○
	マニフェスト保管管理と5年間保存	5年間保存	○
	産業廃棄物管理票交付等状況報告書	令和6年6月18日届出	○
	特別管理産業廃棄物発生事業場設置報告書届出	平成23年2月3日届出	○
	委託契約先 産業廃棄物業者の現地確認	令和6年12月17日確認	○
騒音規制法	7.5kwコンプレッサー届出	平成26年1月14日届出	○
	液圧プレス、機械プレス(加圧能力294KN以上)届出	令和6年11月26日届出	○
振動規制法	7.5kwコンプレッサー届出	平成26年1月14日届出	○
	液圧プレス、機械プレス(加圧能力294KN以上)届出	令和6年11月26日届出	○
浄化槽法	届出書	平成22年12月24日届出	○
	保守点検	令和6年1月4月7月10月に点検	○
	清掃	令和6年11月13月に実施	○
	法定検査	令和6年12月19日に実施	○
フロン排出抑制法	フロン回収登録業者への委託、フロンの漏洩目視点検	廃棄対象無し	—
	自主点検	3ヶ月に1回実施	○
消防法	危険物第4類使用(指定数量の遵守)	適正管理	○
県民の生活環境の保全 等に関する条例	アイドリングストップの従業員への教育指導と表示の 掲示	駐車場に表示	○
家電リサイクル法	小売業者に引渡し受領書を保管する	廃棄対象無し	—
高圧ガス保安法	高圧ガス取扱いの技術的基準の遵守	適正管理	○

確認評価の結果、環境に関する苦情、違反、訴訟等はありませんでした。

なお、過去3年間とも違反、訴訟等はありませんでした。

9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

作成日 令和7年5月27日
作成者 服部 聡始

* 全体評価 *

売上は昨年に比べ微増でしたが、基準年度に比べると大幅に伸び、創業以来の最高売上を更新しました。

- ① 電気使用量が増加したのは毎年の夏の暑さが酷く、工場内の環境を良くし熱中症にならない様にする為エアコンを設置し快適な気温で、仕事の効率を良くした為増加しました。軽油に於いては、自社の2トントラック（最大総重量5,145トン）を運転できる社員が入社した事で、外注先との部材の運搬、工事等への製品の配達等をし、運送会社への出費を少しでも減らす事ができましたが使用量は増えました。都市ガスに関しては、昨年より東京営業所の移転に伴い、以前より約4倍程広い事務所に変わり、冬にガストーブを使用していた為増えました。
- ② 一般廃棄物排出量が増えたのは、仕事量の増加により増えてしまいました。
- ③ 水使用量に関しては、工場内をエアコンにて冷却する為、水を使う気化式の涼風ファンを使用する事が減った為です。
- ④ 有害化学物質に於いては塗装に関して、製品を塗装する工程をなるべくまとめて効率よく塗装する事で減少したと思われます。

以上、各項の評価となりましたが、アメリカのトランプ大統領の関税に関する発言で、国内の建設並びに設備投資の減少等が懸念される処がありますが、引き続きエコアクション21を社員と共に押し進めていきたいと思ひます。

1. 環境活動計画の実施状況

夏の暑さに対する工場内のエアコン設置に関して、設定温度を下げ過ぎ無い様社員に周知させ、二酸化炭素の排出量を上げない努力を今後も守っていきたくと思ひます。又、名古屋と東京での2回の展示会出展の効果も有り、環境配慮商品の販売台数も昨年の2倍となりました。

2. 環境法令等の遵守状況

法令遵守の確認をして、問題ありません。

3. 環境経営システムの運用状況

令和6年度は工場にエアコンを設置した為、電気使用量は3割程上がってしまいましたが、社員が熱中症にならず、又、作業効率は上がったと思ひます。引き続きエコアクション21の活動をより社員と共に推進して行きたいと思ひます。

4. 変更の判断指示

- | | | | |
|--------------|---------------------------------------|---|---------------------------------------|
| 1. 環境経営方針の変更 | ☐ 有 | ・ | ☒ 無 |
| 2. 環境経営目標の変更 | ☒ 有 | ・ | ☐ 無 |
| 3. 環境経営計画の変更 | ☐ 有 | ・ | ☒ 無 |
| 4. 実施体制の変更 | ☐ 有 | ・ | ☒ 無 |

環境経営目標の変更理由

仕事量増加により、エネルギー使用量の増加、尚環境配慮商品販売台数の市場動向で左右されるので目標の見直しを実施、基準年度を直近の実績にし環境配慮商品・販売促進を製品の環境配慮・クレーム数の削減に変更します。

当社の環境配慮商品

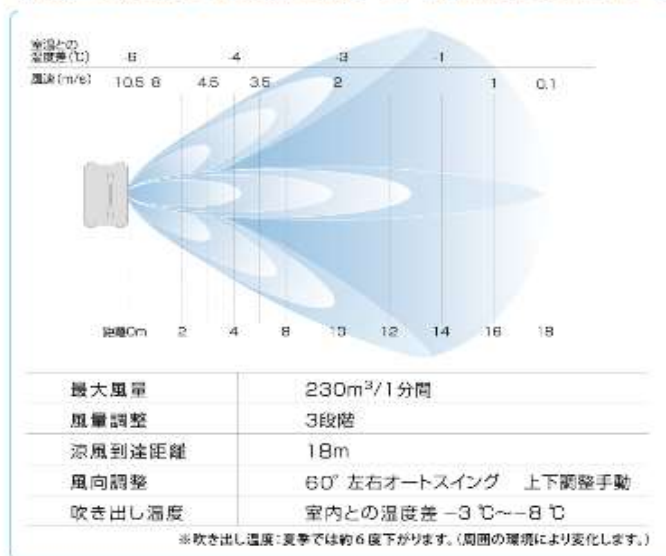
SANWA 移動オアシス 涼風Fan



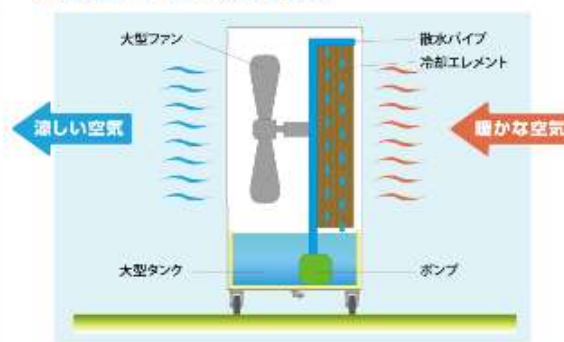
- 自然原理の気化式涼風Fan
- フロンガスは使用していません
- 排熱ゼロ
- 抜群のコストパフォーマンス
- ステンレス製 (SUS304)



大風量の涼風が生む気流によって、体感的にさらに涼しく



◆ 移動オアシスの仕組み

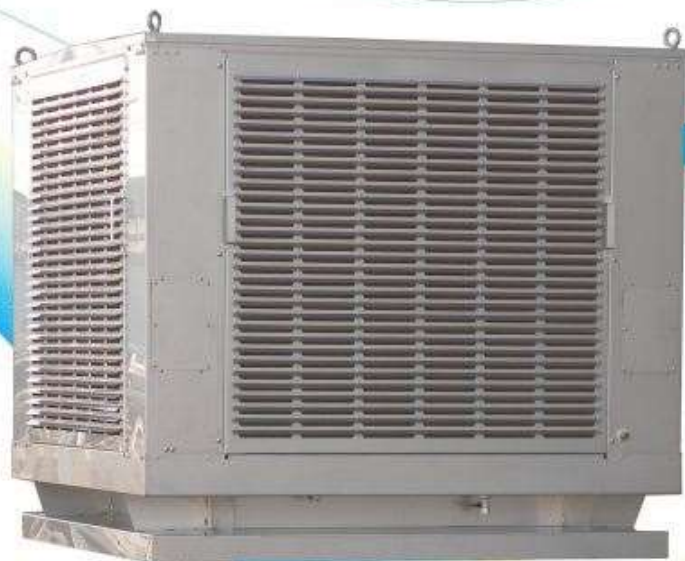


水は乾燥した空気に触れると、蒸発します。このとき空気は熱(気化熱)を奪われ、涼しい空気となります。この自然原理を利用し、大型のファンで涼しい風を送る装置が気化式涼風Fanです。タンクの水はポンプで汲み上げられて、冷却エレメントにそそがれます。水は冷却エレメント全体にしみわたり、空気との接触面積が増え、蒸発効率が上がります。大型ファンで大量の空気が「移動オアシス」を通るとき、暖かな空気は気化によって涼しい空気となり送風されます。

 三和式ベンチレター株式会社

〒492-8546 愛知県稲沢市高重中町53
TEL(0587)32-4168 FAX(0587)23-5074
ホームページアドレス <http://www.sanwaventi.co.jp>

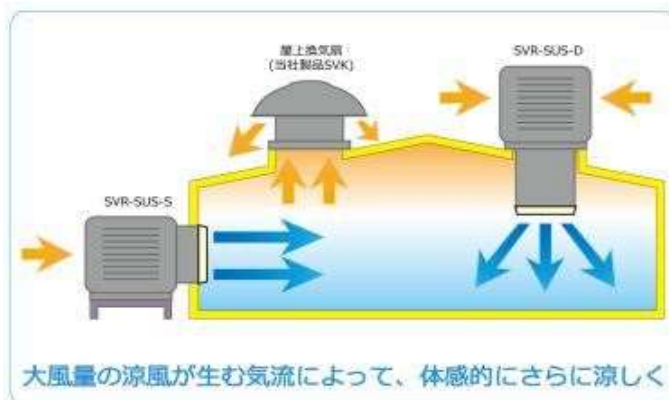
Sanywa 涼風Fan



- 自然原理の気化式涼風Fan
- 省スペース設計
- フロンガスは使用していません
- 抜群のコストパフォーマンス
- ステンレス製 (SUS304)

涼風Fanと屋上換気扇の組み合わせによって、効果的な快適空間の実現できます。

屋上換気扇によって排気を行うことで、効率的な給排気の循環システムが整い、負圧対策になり、より良い環境が創れます。



◆ 涼風Fanの原理

水分が蒸発する時、外気から熱を奪う



水は乾燥した空気に触れると、蒸発します。このとき空気は熱(気化熱)を奪われ、涼しい空気となります。この自然原理を利用し、大型のファンで涼しい風を送る装置が気化式涼風Fanです。タンクの水はポンプで汲み上げられて、冷却エレメントにそそがれます。水は冷却エレメント全体にしみわたり、空気との接触面積が増え、蒸発効率が上がります。温った冷却エレメントを大量の風が通ることによって大量の涼風を作り出すことができます。

 三和式ベンチレーター株式会社

〒492-8546 愛知県稲沢市高重中町53
TEL (0587) 32-4168 FAX (0587) 23-5074
ホームページアドレス <http://www.sanwaventri.co.jp>